

## 2023年度 茅ヶ崎市自立支援協議会 地域支援体制強化部会 会議報告書

件名	2023年度 地域支援体制強化部会 第2回医療的ケアワーキング報告書
日時	2023年10月2日(月) 18時30分～20時30分
場所	茅ヶ崎市本庁舎会議室2
事務局	生活相談室とれいん
出席者	<p>※出席については、部会員のうちワーキングのメンバーのみとなります。</p> <p><input type="checkbox"/>菅野 久子(当事者)</p> <p><input type="checkbox"/>下村 耕一郎氏(神奈川県立茅ヶ崎支援学校)</p> <p><input type="checkbox"/>田邊 貴祥(茅ヶ崎市地域作業所連絡会)</p> <p><input type="checkbox"/>野口 新平(茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会)</p> <p><input type="checkbox"/>田島 淳一郎(茅ヶ崎市・寒川町居宅介護事業所連絡会)</p> <p><input type="checkbox"/>棚橋 利恵(茅ヶ崎市・寒川町ホーム連絡会)</p> <p><input type="checkbox"/>植野 ゆかり(茅ヶ崎市障害者施設連絡会)</p> <p><input type="checkbox"/>毛利 和夫(茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会)</p> <p><input type="checkbox"/>上杉 桂子(茅ヶ崎市障害者団体連絡会)</p> <p><input type="checkbox"/>佐藤 力哉(茅ヶ崎市障害者団体連絡会)</p> <p><input type="checkbox"/>尾辻 涼(茅ヶ崎市保健所)</p> <p>■鈴木 敦之(茅ヶ崎市障がい福祉課)</p> <p>■原田 純子(サポートメンバー： こどもデイサービスにじ(医療的ケア児等コーディネーター))</p> <p>■榎園 貴子(サポートメンバー： 生活相談室とれいん(医療的ケア児等コーディネーター))</p> <p>■大郷 和成(オブザーバー：遊びりパークリノア)</p> <p>■瀬川 直人(自立支援協議会事務局：基幹相談支援センターNalu)</p> <p>■大畑 純子、大八木 元、小清水 茜、小林 彩美 (自立支援協議会事務局：茅ヶ崎市障がい福祉課)</p> <p>■安田 のり子(部会事務局：生活相談室とれいん)</p> <p style="text-align: right;">■出席 <input type="checkbox"/>欠席</p>
議題・検討内容	<p>1 医療的ケア児等のための連絡会議の場の持ち方について(2024年度にむけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他市を参考に、関係機関の構成をどのようにしていくか。年の開催回数はどうするか。</li> <li>・部会事務局より</li> </ul> <p>市内の他の児童に関する会議および他地域の状況について情報提供</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 要保護児童対策地域協議会 来年度以降話し合いの場の関わる関係者に関して、状況は違うが、茅ヶ崎市の構成機関を参考にしていくのはどうか。</li> <li>2) 横須賀市医療的ケア児支援協議会 等</li> </ol>

2024年度の連携会議(仮称)に関して、行政機関、当事者、医療機関、福祉事業所、教育機関での開催案の提案

意見)

- ・コーディネーターだけで話をしても解決の糸口が見えてこない。市の関わりが必要である。
- ・課題が出たら、関わる課に投げかけるのではなく、そこで関わりが終わるわけではない。その子の生活はずっと続いていくことなので、皆で集まって話すだけでなく、それ以外でも関わりに関して何か方法があれば教えてほしい。その子の課題について皆で共有し、一緒に伴走しているよと伝えていける支援に繋がりたい。
- ・コーディネーターは人数が多ければいいわけではない。課題の抽出は網目で網羅するようにできるといい。
- ・今年度は基幹が出来たので、家族会の皆さんは藤沢のぐータッチのような役割を期待していると聞いている。
- ・メディカルショートが利用出来るようになったとしても、入院の扱いなのでベット上で寝ているだけになってしまう。
- ・関わりがある方たちから、相談があれば結局コーディネートしなくてはいけなくなっている。しかし、医療の面から福祉的サービスのことは分からない為、困ってしまう。事務局があればそこに話をもっていけるが。
- ・茅ヶ崎市では、今年度の相談窓口は障がい福祉課としている。相談が入れば、これまでと同じく、相談支援事業所、関係機関等で連携協力し対応していく。

オブザーバーより)

※藤沢市の医療的ケア児等コーディネーターの立場からの情報提供

- ・藤沢市では、基幹センターがコーディネーターを集めて、日常業務での課題をあげて話合いの場を持っている。
- ・重度障がい者部会が医ケア児等コーディネーター部会を兼ねている。
- ・藤沢市としては、こども家庭課が中心。茅ヶ崎市は障がい福祉課が中心となっている。
- ・藤沢は医ケアに関わっている人達に声を掛けていたら、たまたま色々な分野のコーディネーターが集まり、現在12人いる。今後、新たに増やしていくのかは分からない。
- ・藤沢市でもレスパイト先がなく解決法が見つからないという課題は共通している。

コーディネーターより)

- ・(医ケアの) ブランチ会議で市ごとに分かれても30分ぐらいしか話せない。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅ヶ崎市での学校関係、母子保健との関係作りの場が必要なのではないかと考える。</li> <li>・新たな会議体を作ることは来年度も難しいのであれば、既存の枠に入れ込んでいくのはどうか。</li> <li>・困ったことを話す場がない。</li> </ul> <p>来年度の開催回数等についての意見まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年度の連携会議(仮称)に関して、行政機関、当事者、医療機関、福祉事業所、教育機関での開催はどうか。</li> <li>・回数は年2回か、年1回がいいか。年1回であれば小グループでもう1回の開催を目指すかどうか。</li> <li>・茅ヶ崎市より：新たな連携会議等の設置については一旦持ち帰らせてほしい。</li> </ul> <p>2 医療的ケア児等コーディネーター配置事業について 茅ヶ崎市より配置事業案、医療的ケア児等コーディネーターの役割等について説明</p> <p>3 その他</p>
<p>当日資料</p>	<p>・2023年度 地域支援体制強化部会 第2回医療ケアワーキング次第</p>